

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1(1)	コロナ禍で、合同でのふれあいや行事などが出来なかった。	利用者、ご家族へ要望などを伺いながら喜んでもらえるようなケアを目指す。	新型コロナウイルスの予防接種も始まり、世の中の感染状況を見ながら家族との交流行事を検討していく。出来ない場合は、リモート環境を整えたくて利用者、ご家族の笑顔が出る支援を行う。	12ヶ月
2	2(2)	コロナ禍で、入居者が地域とつながりながらの生活が今は難しい。	援助目標である「地域との関わりの中で喜びと達成感のある暮らしの支援」の実践。	コロナ禍で、町内会活動も自粛されている。今後利用者のワクチン接種終了後、状況を見ながら母体施設間での合同の行事からご家族、町内会と少しずつ交流の場が広げられるよう調整を図る。	12ヶ月
3	4(3)	運営推進会議の内容が、利用者全家族へ情報共有が出来ていない。	議事録をご家族全員へ配布し、情報を共有することで家族との関係性を今以上に強くする。	2ヶ月に一度、ご家族全員に議事録を配布し、ご意見などを伺いながら、よりサービスの向上に努めていく。	6ヶ月
4	35(13)	大水害時の避難について	大水害の避難は母体施設となっているが、現在建設中の市役所への避難も想定する。	市役所完成の折りに具体的に進めていく。	24ヶ月
5	40(15)	食事を楽しむ支援について	行事食や季節を感じられる食事を提供し食事を楽しんで頂く。	職員が入居者に変わり職への気づきを栄養士に代弁する。馬体施設から栄養士に来てもらい、直接利用者の感想も聞いてもらう。	6ヶ月
6	45(17)	週2回の入浴を行っているが、夏場など皮膚疾患が心配される。	臨機応変に入浴回数を変更する。	空調を調整しながら状態を観察、必要に応じて午後随時入浴の対応や部分浴などで対応する。	6ヶ月

7	49 (18)	コロナ禍で、一人ひとりに希望に沿っての外出支援が出来なかった。	コロナ終息時には、ご家族へ外出や散歩等を依頼する。	コロナ終息時には、ご家族の協力も得ながら、外出支援や外出できない場合には庭先に出て人の往来や花の観賞で四季に関して頂く様に支援していく。	12ヶ月
---	------------	---------------------------------	---------------------------	--	------

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。